



リボンの会 会員の声

[リボンの会のホームページ・トップ](#) > [リボンの会とは](#) > [会員の声](#)

しおん【急性前骨髄性白血病】


完治を目指して

「また貧血がひどくなってきたな。」

子宮筋腫の影響で、発病前の数年間は半年から一年に一度、かかりつけ医のもとで鉄剤の処方をしてもらっていた。その時かかりつけ医が、「久しぶりに採血もしておこう。」そうしてくれたおかげで、白血病の発見につながった。病名は、急性前骨髄白血病だった。

仕事の合間に時間をとって血液内科を受診したつもりが、まさかのそのまま入院になった。4 サークルの抗がん剤で入院治療が半年、その後2年間の維持療法。それが私の治療スケジュールだった。突然のことで、今でもその時どう考えていたのか思い出せない。現実と向き合うのが怖い臆病な自分がいた。

院内には、さまざまな血液病の患者がいて、洗面所やトイレ、給茶配膳室が交流の場だった。体調や不安を語り合い、身近に相談相手もいた。いざ退院となると、患者の私は社会にぽつんと置かれるんだという不安が出てきた。そうしたときに、臨床心理士から患者会があるよ、とリボンの会のことを聞いた。

患者会では、発病から日の浅い方、5年10年それ以上血液病と闘っている方ともお会いする。私自身今は寛解していても、何年たっても再発の不安はある。そんな気持ちを吐き出す場所があり、聞いてくれる友がいる。また、顧問の先生の最新の治療や、薬の解りやすい話も聞くことができる。 

リボンの会 会員の声

リボンの会のホームページ・トップ > リボンの会とは > 会員の声

確かに、ガンになってしまったことは辛いことだった。でも、患者会では、世代や病気を超えて、病気にならなかつたら会えなかつたいろいろな方と出会うことができる。そして元気になった今、会のお手伝いもできるようになった。そして、病気になる前よりもいろいろなことを思い、考え、知り、私の人生は豊かになったことには違いない。悪いことばかりではない、そう思いたい。

巷では、天災や、事故や事件に巻込まれるなど、ガンの告知以外でも思いがけないことが起こることがある。明日の自分が元気でいられるかは、誰しも何の保障もない。何気ない毎日がありがたい、本当は有り難いことなのだと。だからこそ、あれこれ悩むよりも、笑顔で一日一日を大事に生きたい。

2016.4



リボンの会 事務局本部

公式サイトURL: <http://ribonnokai.info/>

E-mail: <http://ribonnokai.info/mail.html>